

オリジナル図鑑を作ろう！

教師

虫を採るのが大好きだけど、採って満足している。発展させるにはどうしたらいいのかな・・・

(小声で) ここ(草)揺れているから、ここにいるよ



ぼくはトンボ探すんだ。トンボいないかな・・・(上ばかり見ている)

...くん、やったよ~見て！捕まえたよ！！ありがとう！

は、トンボを捕まえようとしていたが難しいと考え、友達の実似をして草の揺れ、地面の虫の跳ぶ様子を観察していた。③に声をかけ、挟み撃ちにして捕まえた。

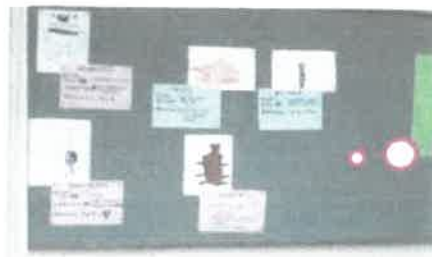


(友達が絵を描いていたのを思い出し) ぼくも描く！ ぼくが採った虫を描くんだ！



色鉛筆にしたんだね！優しい絵になったね。(クレパスやサインペンで力強く描く幼児が多いが、は色鉛筆を出してきた。⑦⑧⑩絵のタッチが柔らかく、細部まで丁寧に描いていた。

できたよ！ ぼくのもの貼って~！



生態についての説明書きは幼児から聞き取ったこと(幼児が知っていること)や、一緒に調べたことを教師が記載した。

【育ちの芽生え】

- ③協同性
- ⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧教壇・図形、文字等への関心・感覚
- ⑩豊かな感性と表現

教師

- 虫を採る楽しさだけでなく、絵を描いたり教師が知っていることを聞き出したりしていくことで、オリジナル図鑑作りにつながった。また、教師が聞き取りをしたことで共同作業となり、幼児にとって負担とならず、興味をもって取り組むことができた。
- 生態(知っていること)を言葉にすることで、『生命』について少しずつ意識するようになってきた。今後も遊びを通して、自分で気付いていけるようにしていく。